

第1回 丹波市生涯学習基本計画審議会（摘録）

開催日時	令和6年5月27日（月）午後7時00分 開会～午後9時00分 閉会
開催場所	丹波市立氷上住民センター 実習室
出席者	【委員】 岡田龍樹委員、萬浪佳隆委員、橋本崇史委員、足立和宏委員、山内佳子委員、藤原亨委員、西垣義之委員、松井崇好委員、薦木伸一郎委員、大槻芳裕委員、石塚和彦委員、上山未登利委員、下野広志委員、立石実希委員 【事務局】 谷水仁まちづくり部長、山内邦彦市民活動課長、前田大志地域協働係長、湊上充之生涯学習係長、藤原真理主幹、足立大希主査、細見有加主事、大西伸弘生涯学習推進員 【関係部署】 社会教育文化財課 小嶋崇史課長、足立恵一副課長
欠席者	
傍聴者	0名
次 第	1. 開会 2. 委嘱書の交付 3. 副市長あいさつ 4. 自己紹介 5. 委員長・副委員長選出 6. 委員長・副委員長あいさつ 7. 諮問 8. 審議会の進め方について 9. 会議の公開・非公開の決定について 10. 委員研修（講演） 11. 協議事項 12. 意見交換 13. 第2回審議会の開催日程 日時：令和6年6月24日（月）19：00～ 場所：丹波市立氷上住民センター 大会議室 14. 閉会
資 料	～配布資料～ 【会議次第】 【資料①】 委員名簿 【資料②】 丹波市職員等名簿 【資料③】 丹波市生涯学習基本計画審議会設置条例 【資料④】 第2期丹波市生涯学習基本計画について（諮問）（写） 【資料⑤】 丹波市生涯学習基本計画審議会に関する運営要綱（案） 【資料⑥】 丹波市生涯学習基本計画審議会に関する傍聴要領（案）

	【資料⑦】 委員研修資料 【資料⑧】 第２期丹波市生涯学習基本計画策定の方向性について 【資料⑨】 アンケート調査の概要 【資料⑩】 第２期丹波市生涯学習基本計画策定に関するアンケート調査票（案） ～当日資料～ 【当日資料】 第２期丹波市生涯学習基本計画審議会 年間スケジュール ～参考資料～ 【参考資料①】 丹波市生涯学習基本計画（後期計画） 【参考資料②】 第４期教育振興基本計画 【参考資料③】 「生涯学習（まなび）を实践に生かす地域づくりの推進」に向けた取組について（提言）
会議摘録	
発言者	発言の要旨
事務局	１．開会 定刻になりましたので、ただいまから第１回丹波市生涯学習基本計画審議会を開催いたします。委員の皆様にはご多用のところ、本会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。よろしくお願いいたします。 まだ会議録作成のため、会議でのご発言の際は、委員長から指名の後、マイクをお持ちしますので、お名前をおっしゃっていただいた後にご発言くださいますようお願いいたします。 【配布資料確認】
事務局	２．委嘱書の交付 丹波市副市長 細見正敏から委員への委嘱書を手交いたします。 会議運営の都合上、代表の方のみお渡しさせていただきます。 それでは、委員を代表して岡田委員にお渡しさせていただきます。 【委嘱書手交】
事務局	３．副市長あいさつ 続きまして、丹波市副市長 細見正敏からごあいさつを申し上げます。
副市長	皆様には、夜分お疲れのところ、第１回丹波市生涯学習基本計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。それぞれ公私ともにお忙しい中、審議会委員にご就任を賜り、深く感謝申し上げます。 このたびの審議会では、第２期丹波市生涯学習基本計画につきまして、委員の

皆様それぞれの多岐に渡るご経験、ご見識を活かしていただき、さまざまな視点から「丹波市の生涯学習」のあり方についてご検討いただき、また、ご指導を賜りますようお願いいたします。

さて、皆様ご存じのとおり、全国的に人口減少・少子高齢化が進んでおります。本年4月に発表された「人口戦略会議」では、2050年までに消滅可能性のある自治体が全国で744自治体存在することが分かりました。丹波市は消滅可能性自治体を脱却しましたが、過疎指定地域もあり、予断を許さない状況であると認識しております。人口減少が進むことによる小規模集落の課題として、集落での支え合いや自助・共助の機能が弱くなってくることが挙げられます。このような課題の解決を考える上で、生涯学習の役割は非常に大きいものであります。市民一人一人が主体的に学び、他者と対話を通じてつながっていくことで、地域コミュニティの基盤を形成していくことになると考えています。「まなび」を中心に人と人、地域と地域などがつながっていくことが、地域の活力を高め、持続可能で誰もが住みたいと思える地域を作ることにつながります。

また、令和6年6月16日に閣議決定された「第4期教育振興基本計画」では、「今後5年間の教育政策の目標と具体的施策」の「地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進」において、「社会教育人材の養成・活躍機会の拡充」が明記されています。多様な分野の施策と連携しながら、人づくり・つながりづくり・地域づくりを担う「社会教育主事」や「社会教育士」を育成する「社会教育主事講習」を受講しやすい環境を整えることや、社会教育人材のネットワーク化を促すことで、人材の活躍機会の拡充を図ることが重要とされています。

ただいま固有名詞として社会教育士という名前を申し上げました。皆さん、馴染みがありますでしょうか。私最近耳にして、なんやろうな、また新しい役職ができたのかなと思いました。ちょっと先にするんですが、次第の1枚めくっていただきますと、本日ご出席の皆様お名前が載っております。その所属の中に「たんば社会教育士コミュニティ」からもお世話になっております。これは、私が思っている社会教育士とおなじなのかと思い、先ほどお聞きしたらそうだと回答をいただきました。

以前までは社会教育主事という名前が皆さんにもなじみがあるものではないかと思えます。これは教育委員会の中で必ず置きなさいとされているもので、生涯学習の推進役を行政として担う一つの役職でございました。

ではなぜ、「社会教育士」というのができたのか。それは、「行政だけが社会教育、生涯学習の推進役ではないのではないか」というところから始まっています。その役割を担う社会教育主事。これは官職名ございまして、民間や一般市民の方がこの名前を資格としてもらい、活動するわけではありません。ですが、先ほど申し上げましたように、行政だけが中心となるものではない。地域の中に溶け込むようにして推進すべきものであろうということで、広く門戸を広げた。そこで、2020年に改めて「社会教育士」という言葉が作られました。

ただ、内容的には社会教育主事、これと同様の知識経験を踏まえていただく必要がございますので、学び直していただいて、改めて取得していただく等々のそういった要件があります。そういった意味では、非常に熱心な方々に委員さんと

	して、この度お集まりをいただいたと思っております。 このように、これからの丹波市を考えていくにあたって、生涯学習やまなびの果たす役割は多く、そこに関わる人たちも多様でなければなりません。これまでの自治会、地域の運営が男性主体であったものが、子ども、女性、高齢者、障がいを持った方、外国人等々、誰もが主役となって関わっていく。そのためには、それぞれのまなびを通じて、視野を広げ、多様な価値観を認め合いながらつながっていくことが大切です。 先行きの不透明な難しい時代を迎える中、委員の皆さんのご意見を反映させていただき、いきいきとした活力のある市民によって、大人や子どもが共に楽しくまなび合える元気な丹波市を創っていくためにご協議いただき、本計画の答申をいただきたいと思っております。大変にお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	4. 自己紹介 続きまして委員の皆さんからそれぞれ自己紹介をお願いしたいと思います。本日は名簿掲載順に自己紹介をお願いします。
委員	【委員自己紹介】
事務局	続きまして、市の出席者の自己紹介をさせていただきます。 【市事務局、関連部署職員自己紹介】 ありがとうございました。
事務局	5. 委員長・副委員長選出 次第5、委員長、副委員長選出に移らせていただきます。 資料③の丹波市生涯学習基本計画審議会設置条例。第5条の第2項において、委員長、副委員長は委員の互選により定めることとなっています。委員長について、推薦はございますか。なければ事務局から提案させていただいてよろしいでしょうか。
委員	【異議なしの声】
事務局	それでは、委員長に岡田委員を提案いたしますが、よろしいでしょうか。 【委員拍手】
事務局	それでは、当審議会の委員長は岡田龍樹委員をお願いいたします。よろしくをお願いします。

事務局	次に、副委員長について、立候補・推薦はございますか。
委員	薦木です。副委員長として立候補します。 確認ですが、副委員長は規約上2名体制でも問題はないのでしょうか。
事務局	審議会設置条例上は1名という記載はないので問題はないかと思います。
委員	それでは、そのうえで提案ですが、副市長のあいさつにもあったように、年代や性別も多様な方ということで、公募委員で参加されている立石委員を副委員長に推薦します。ですので、副委員長を薦木と立石委員の2名でできたらと思うのですがいかがでしょうか。 【委員拍手】
事務局	ありがとうございます。 それでは、副委員長は薦木委員、立石委員にお願いいたします。 どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	6. 委員長・副委員長あいさつ それでは、岡田委員長、薦木副委員長、立石副委員長からご挨拶をいただきたく思います。よろしくお願いいたします。
委員長	【委員長あいさつ】 私も兵庫県で生まれ、現在は奈良県の天理大学に勤めております。 長く丹波市とは関わらせていただいております。また、副委員長さんが2名という事で、大変心強く思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
副委員長	【副委員長あいさつ】 先ほどは突然の提案、失礼しました。 私は丹波市に来て2年になります。様々な社会教育生涯学習の分野で関わらせていただき、例えば学校のコミュニティスクールや地域学校協働活動、あとスタッフとして働いている市民活動支援センターでの生涯学習事業でたくさんの市民の方とお会いすることが出来ました。生涯学習のすばらしさは人と出会える事にあると思います。その出会いがきっかけとなって、今丹波市で暮らすことができていると思います。生涯学習は一人一人の人生においてもそれくらい重要なものだと思いますので、この一年間、丹波市の生涯学習と一緒に考えていければと思います。よろしくお願いいたします。
副委員長	【副委員長あいさつ】 よろしくお願いいたします。 私は丹波に来て8か月目で、20代なので経験が多いわけではありません

	が、それを承知の上で皆さんが認めてくださったのは、20代で女性、生涯学習に意欲があるという事です、この場所に立つこと自体に価値があるのではないかと考えています。 これから一緒に計画の取りまとめなどを副委員長としてさせていただきますが、それだけではなく、私自身が学ぶことも私がここに立つ意味なのかなと思います。よろしくお願いします。
事務局	7. 諮問
副市長	続きまして、副市長から審議会への諮問をさせていただきます。 【諮問 細見副委員長 → 岡田委員長】 ※諮問内容は資料④のとおり
事務局	なお、諮問の内容につきましては、お手元の資料④をご確認ください。 副市長については、都合のため、ここで退席させていただきます。
事務局	8. 審議会の進め方について
委員長	それではここからの進行は岡田委員長にお世話になりたいと思います。 それでは、次第を進めさせていただきます。 審議会の進め方について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料⑤】丹波市生涯学習基本計画審議会に関する運営要綱（案） 【資料⑥】丹波市生涯学習基本計画審議会に関する傍聴要領（案） について説明。 ただいま、ご説明いただきました件について、本日付けで施行するという事でご賛同いただけますでしょうか。
委員	【異議なし】
委員長	それでは、これからの会議については、このような方法に基づき会議を運営していきます。会議の公開・非公開、傍聴を認めるかについては、会議毎に委員のみなさんにお諮りしたいと思います。
事務局	10. 委員研修（講演）
委員長	続きまして、委員研修に移ります。 本研修につきましては、岡田委員長にお世話になりますので、事務局で進行をさせていただきます。 【委員研修 岡田委員長講演】 演題：知識循環型生涯学習～大人も子どもも共にまなび合う未来へ～

	・生涯学習とは ・生涯学習における学習内容について ・生涯学習に関する世論調査について ・社会教育調査について ・これまでの知識循環型生涯学習について ・令和6年3月提出提言「生涯学習（まなび）を実践に生かす地域づくりの推進」に向けた取組について
事務局	11. 協議事項 (1) 第2期丹波市生涯学習基本計画策定の方向性について 審議会年間スケジュールを共有したのち、以下の点について事務局説明。 【第2期丹波市生涯学習基本計画の方針（案）について説明】【資料8】 1. 「知識循環型生涯学習による持続可能なまちづくり」の問い直し ・今の時代、これからの時代に応じた「知識循環型生涯学習」 ・現行計画の基本理念を踏まえて、新しい時代の柱 2. 提言書（3月提言）の内容を踏まえた「地域教育」の普及、推進 ・学校、地域、家庭の垣根を超えた「地域教育」の普及、推進 ・大人も子どもも楽しくまなび合うために必要なこと 3. 社会教育人材の養成やネットワーク形成に関する具体的な方針 ・社会教育人材（社会教育士など）の普及 ・地域教育人材ネットワーク（仮）の形成など 4. 市民がまなびの場に参加しやすい環境づくり ・市民がいつでも、どこでも学べる環境づくり ・具体的な施策提案 (2) 第2期丹波市生涯学習基本計画策定に関するアンケート調査について 第2期丹波市生涯学習基本計画策定にかかり、生涯学習アンケートを実施いたします。アンケート内容についてご説明をさせていただきます。 【生涯学習アンケート（案）内容説明】【資料9、10】 なお、策定の方針、アンケートの内容についてご意見があれば、後日お送りするフォームにてご回答をお願いします。 以上2点について、委員の皆さんからご意見あればお願いします。

委員	今回初めて参加させていただいた。説明を聞く中で少しわからないことがあったので、確認したい。 委員長の講演の中で、丹波市は進んでいると言われていたが、現在の計画の進捗などから、何が課題なのかが、今の説明ではあまりわからなかった。 私は自治会長を経験したときに感じた課題としては担い手がないという事。このことと、生涯学習をどう結び付けていったらいいのかを考えて参加した。 このアンケートの内容の中には今までの項目もあれば新しい項目もあると思う。私も含め委員さんにわかりやすく提示いただければと思います。
委員長	今の計画の時にもほぼ毎年アンケート調査を丹波市はしている。 アンケート調査の内容で一喜一憂するのはよくなくて、次に押さえていくことは何なのかをデータもそうですが、委員さんの意見もお聞きしながら、なににアクセルを踏んで行くべきなのかを議論していければと思います。
副委員長	丹波市内は活動が活発だと思うし、興味関心のある人が多いと思う。しかし、うまく情報が届いていないことや、ひと同士がつながれていない状況があると思う。また、行政からも生涯学習事業を担っていますが、うまく横断連携ができているところとそうでないところがあると思います。 行政だけでなく、地域・市民のなかで生涯学習を広げるためには、社会教育人材が増えていくことによって、地域の中に学びや楽しさを通じて、人と人がつながっていくことが大切。自治会などの中で担い手がないという事もある。地域の中で興味関心を持つ人たちを増やすことやイベントなどの楽しさを通じて、丹波市の課題などに興味を持つ人が増えていくのかなと思いました。
委員長	今回の会は、ざっくばらんに意見を言い合う会になればと思います。 多様な方がいるから意味がある。立場が様々な人からのご意見をいただければありがたく思います。
副委員長	アンケートで多数決を取って終わりではなく、このアンケートによって話し合っていくための材料にすることが大切だと思います。このアンケートでなにを明らかにするか決めないと、このアンケートがいいか悪いかの評価ができない。
委員長	アンケートがすべて下地になるわけではない。その結果から使えるものを我々で考えていきたいですね。多数決だけでなく、多様な意見がたくさんあるなか、みんなでコンセンサスを取っていくことが大切になろうかと思います。 ある程度、今までの問いを踏襲しながら聞く必要もある。また、新しく付け加えた問いもあります。
委員	単純に設問数が多いと感じます。例年と比べて設問数はどうですか。
事務局	例年からでいうと5問ほど多くなっています。

委員	であれば、ウェルビーイングなどの言葉をしっているかなどの項目の意図を知りたいです。
委員長	国の世論調査でもこの辺を聞いているのでそうしたのでは。
委員	基本的なことをお聞きしますが、知識循環型生涯学習のイメージについては納得します。基本計画が策定することは、丹波市が丹波市民の方に推奨する形になるのか。どういう風にこの計画を活用していくつもりなのかお聞きしたい。
委員長	事務局と事前に協議もしていました。改めて、同じ感想を持ちます。 生涯学習計画を立てるのは本来個人。それを行政が計画を立てるのは誰の為にどんなことをするのか根本的にどうなんだという議論はあります。そのことも含めこれから議論していきたい。他の自治体では生涯学習「推進」計画とされているところもある。人々の学習を進めていくために行政は何をするべきなのか。どんな手立てをまちの中に創っていったらいいのか。それが、市民の生涯学習の計画につながっていくのではないかと。前の計画では個人の学習に少し注目していたが、今回の計画では具体的に「誰が」「何を」するのかを明確にすすめていくことが大切ではないかと思います。 行政と市民をつなぐ中間でつなぐ団体で市民に近いところで生涯学習支援をしていく必要があると思います。生涯学習を支援する人たちがちゃんと食べていけるようにしないと、いつまでもボランティアになってしまう。このことも大切だと思います。
委員長	14. 閉会 それでは、締めあいさつを副委員長からお願いします。
副委員長	みなさんお疲れ様でした。 第一回目という事で、現計画の課題など、丹波市の状況の振り返りには必要なことなので、事務局で準備いただいて、議論できる材料を用意していただければありがたいです。まさにこの場が生涯学習の場になる。そんな話し合いの場になればいいなと思いました。ありがとうございました。
副委員長	このような審議会が初めてで緊張しました。 もっとフラットに意見交換が出来たり、他の人の意見を聞けるような場になればいいなと思いました。ありがとうございました。
	次回（第2回）審議会 令和6年6月24日（月） 午後7時～午後9時 氷上住民センター 大会議室